

特集

病院新本館A棟始動!

三島医療圏の最後の砦

さらなる発展を目指し、新本館A棟がオープン



病院長
広域医療連携センター
センター長
南 敏明

大阪医科薬科大学病院新本館A棟開院

2022年7月1日、大阪医科薬科大学病院新本館A棟が開院いたしました。最新設備を導入した12階建て、その1階には三次救急機能を有した大阪医科薬科大学病院救命救急センターが新設されました。一次二次救急を担当する総合診療科にはAI問診を導入して診断の一助となるようにしています。最上階の12階には先進的な「がん」に特化したがん医療総合センター(化学療法センター・緩和ケアセンター・がん相談支援センター)、がんゲノム医療管理室、遺伝カウンセリング室、プレジジョン・メディスンセンターが配置されています。12階からの眺めは素晴らしく、患者さんにとって少しでも気分転換になればと考えています。そのほかに病棟リハが有効とされる循環器内科・脳神経外科に対しては病棟内にリハビリテーション室を設置しました。

本院が三島医療圏の最後の砦であるとの自負の下、患者さんを24時間迅速に受け入れていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

特集

2022年7月1日より、病院新本館A棟始動！

超スマート医療を推進する大学病院

CONCEPT

- すべての施設利用者のストレスが軽減される病院
- 時代の変化に柔軟に対応でき、継続的に質の高い医療を提供できる病院
- 次代を担う人材を育成する病院

1F
3F
救命救急

初期の高度治療を専門に行う救命救急

北摂地域の一般病院で治療が難しい心筋梗塞や脳卒中、また事故等による重度な外傷など、生命に危険がある重症患者さんに対し、初期の高度治療を専門に行う救命救急センターを設置。救命救急センターには一般撮影室・救急撮影室・CT検査室及び手術室を備え、検査と治療を合わせて迅速に行うことができます。また1階の救命救急センターから3階の救命救急ICUへは専用エレベーターで患者さんを搬送することができ、中央手術棟とも同じ階で直結されているので、患者さんの移動による負担を軽減し、救命率の向上につながります。

救命救急ICU(3F)



救命救急センター(1F)



化学療法センター

がん相談支援センター
遺伝カウンセリング室

一般病棟(血液内科)

一般病棟(脳神経外科)

リハビリルーム

一般病棟(腎泌尿器外科)

一般病棟(循環器内科)

リハビリルーム

一般病棟(消化器外科、形成外科、救急)

スタッフ専用フロア

医局

輸血室

血液浄化
センター消化器内視鏡
センター

生理機能検査

臨床研究
センター救急ICU
救急病棟低侵襲血管内
治療センター

病理部

ELV

放射線画像検査室

救命
救急センター

時間外受付

総合
診療科

コンビニ

RI検査

中央
手術棟へサービス
出入口サービス
ヤード12F
がん診療

最先端・次世代を見据えたがん診療の機能を集約

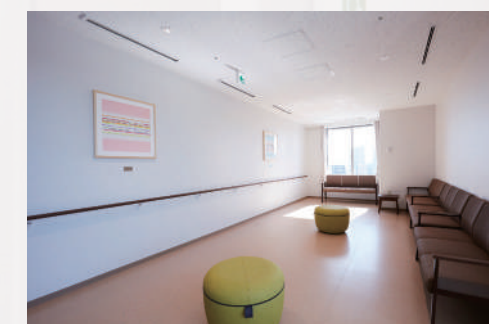
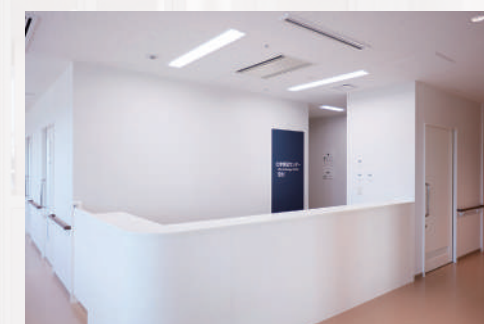
12階にはがん医療総合センターとしてがん診療の機能を集約。化学療法センターでは北摂の山並みを眺めながら治療を受けることができます。またロボット調剤の導入により、薬剤師への抗悪性腫瘍薬の曝露を低減するなど調剤作業の負担を大きく減らし、調剤過誤を防ぐことも期待されます。

がんゲノム医療を担う「遺伝カウンセリング室」では各診療科と連携して遺伝子パネル検査を行い、一人ひとりに合わせた治療を行います。

化学療法センター



ロボット調剤



受付

待合室

8F
10F
リハビリ
ルーム

早期離床を目指し、継続的に行うリハビリテーション

8階と10階に病棟リハビリテーションルームを設けています。状態に応じて早期から継続的にリハビリを行うことによって、早期離床を目指すことができます。

スタッフステーションにはビタミンカラーをベースに地域の植物のイラストを大きく配しました。生命力を感じさせると同時に柔らかさを取り入れ、患者さんやスタッフに安らぎをもたらします。

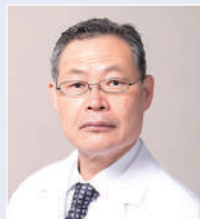


病棟リハビリテーション(循環器内科)

病棟リハビリテーション
(脳神経外科)

スタッフステーション

新任科長のご紹介



一般・消化器・小児外科

り そう ゆう
科長 李 相雄

2022年4月1日着任

私は、2013年より上部消化管グループの指導医として、食道がんと胃がんを中心に1600例以上の外科臨床に携わってきました。今後は、消化管のみならず肝胆膵領域におけるロボット手術を推進するとともに、関連科との協力体制を強化して超高齢社会に即した低侵襲集学的治療を推進します。

Profile

- 専門分野
消化管外科(食道・胃)

● 資格等

日本外科学会認定専門医・指導医、日本消化器外科学会認定専門医・指導医、日本内視鏡外科学会認定技術認定、日本食道学会認定食道外科専門医、日本消化器病学会認定専門医、日本消化器内視鏡学会認定 専門医・指導医

● 略歴

1995年 3月 大阪医科大学 医学部 卒業
1995年 4月 大阪医科大学 一般・消化器外科 入局
1997年 3月 北摂総合病院(大阪府高槻市) 外科
2000年 4月 大阪医科大学 一般・消化器外科学教室 専攻医
2002年10月 大阪医科大学 一般・消化器外科学教室 助教
2005年 3月 愛媛県 南松山病院 外科
2007年 4月 大阪医科大学 一般・消化器外科学教室 助教
2017年 8月 大阪医科大学 一般・消化器外科学教室 講師
2021年 6月 大阪医科大学 医学教育センター
副センター長(兼任)
2022年 4月 大阪医科大学 一般・消化器外科学教室 教授

- 趣味・特技
ジョギング



消化器内科

にし かわ ひろ き
科長 西川 浩樹

2022年8月1日着任

内科学II講座は、上部消化管・下部消化管・胆膵・肝臓・化学療法5グループから構成される伝統ある大組織です。「大阪医科大学といえれば内科学II講座!」と人から言ってもらえるような組織作りを目指します。

Profile

- 専門分野
消化器内科学・肝臓病学・臨床研究マネジメント

● 資格等

日本消化器病学会認定専門医・指導医、日本肝臓学会認定専門医・指導医、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA) 専門委員

● 略歴

1999年 3月 京都大学医学部卒業
1999-2004年 奈良県天理よろづ相談所病院 臨床研修
2004-2015年 大阪赤十字病院消化器内科 副部長(最終職位)
2015-2021年 兵庫医科大学 肝胆膵内科 准教授(最終職位)
2017-2019年 医薬品医療機器総合機構(PMDA) 主任
2019-2021年 兵庫医科大学 臨床研究支援センター 部門長
2021年 4月 大阪医科大学 特任准教授
2022年 8月 大阪医科大学 内科学II教室 教授

- 趣味・特技
競技用ヨット、スポーツ観戦、温泉巡り

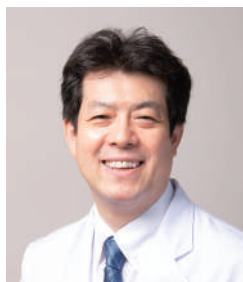


大阪医科大学病院救命救急センター誕生!

センター長 高須 朗

大阪府三島救命救急センターの三次救急機能が本院へ移管され、新しく大阪医科大学病院救命救急センターが誕生しました。新A棟1階と3階に救命救急センター機能が集約され、1階にはCT検査室直結の床面積80㎡の蘇生・手術室と同70㎡の蘇生室、その他、2次救急処置室2室、一般外来診察室6室、3床収容可能な観察・処置室1室が設置され、災害時など有事の際には最大8名の重症救急患者の同時受け入れが可能です。3階の救命ICU(EICU)へは専用エレベーターで直結され外来・病棟一体型で運用されます。EICU20床全てで救命救急入院料の算定基準を満たし、高性能人工呼吸器15台、搬送用人工呼吸器4台、体外循環装置遠心ポンプ駆動システム4台を配備しています。救命救急センターの常勤医20名のうち11名は高い救急技能を有した救急科専門医です。さらに、大学病院併設型救命救急センターとなることで、各専門医のバックアップが強化され、守備範囲の広い救命救急医療が展開できるようになりました。

医療連携室 室長 就任のご挨拶

医療連携室 室長
鰐淵 昌彦

2022年4月より医療連携室の室長を拝命しました鰐淵昌彦と申します。2019年7月に脳神経外科・脳血管内治療科の診療科長として赴任させていただいてから、ちょうど3年が経過しました。就任半年後より新型コロナウイルスが猛威を振るいはじめ、未だ収束の兆しはみえておりませんが、「顔の見える」、「治療する人の人柄が見える医療」は重要と考えており、感染対策に留意しながら今春より挨拶回りをしております。

この「MIZUKI」には大学病院の最新情報が盛り込まれており、紙面でも確認いただけますし、病院のホームページから閲覧することも可能となっています。多忙なお仕事の合間でも短時間で大学病院の近況を知ることができますので、是非ページをめくっていただけると幸いです。職員一丸となって最良の医療を提供すべく尽力しております。今後ともご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願いいたします。

TOPICS

7月から病院ホームページをリニューアルしました

これからも患者さんや医療機関の方によりわかりやすい情報を発信していきますのでご期待ください！



↑
トップページ

医療連携室ご利用のご案内

● 医療連携室「FAX紹介申込書」受付時間

平日／8:30～20:00 土曜日／8:30～12:00

※第2・第4土曜日は休診です。

※FAX受信は24時間可能(休診時も含む)。

但し受付時間以外の受信については翌診療日以降の対応となります。

大阪医科薬科大学病院 広域医療連携センター 医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

● TEL.072-683-1221 (大代表) 内線2308

● TEL.072-684-6338 (医療連携室直通)

FAX

送信先 FAX 072-684-6339

本院専用のFAX紹介申込書及び封筒をご用意しております。
ご利用の場合は、電話またはFAXにてご請求ください。

編集後記

本館A棟が開業し、B棟の建築がはじまりました。B棟に入居予定の医療連携室は工事の都合により2回の引越しを余儀なくされ、病院正面玄関の近く(救急医療部あと地)に落ち着きました。超“密”であった部屋は“余裕ですれちがえるぐらい”に広くなり、奇しくもコロナ感染対策万全で第7波を迎え撃っています。まだまだ工事は続き、最後の講堂棟の完成予定は2027年。創立100周年を迎えるころになります。

コロナ第7波が収束し、皆様に一日も早く穏やかな日常が戻りますように。(S.F.)

本館A棟のB棟連結部(建築好きにはたまらない景色だそうです!?) →

